令和5年度　事後評価シート

【事務事業シート（政策的経費）】

1

当初	事　項	**農山漁村男女共同参画強化事業費**									予算主管課		農産園芸課	
	事　業 概　要	県農山漁村における男女共同参画に関する方針の重点項目を踏まえ、農林水産分野での男女共同参画社会の実現を目指す。									始期		H13	
											終期		R9	
	K P I	**家族経営協定の新規締結及び再締結数**												
		KPI種別	上がると良い指標	Ｒ ５ 年 度			Ｒ ６ 年 度			Ｒ ７ 年 度			Ｒ ８ 年 度	
		時点・期間	R3年度	時点･期間	R5年度		時点･期間	R6年度		時点･期間	R7年度		時点･期間	R8年度
		現状値	1183　戸	目標値	1200	戸	目標値	1250	戸	目標値	1300	戸	目標値	1350 戸
				実績値	1189	戸	実績値		戸	実績値		戸	実績値	戸
				達成率	99.08	%	達成率		%	達成率		%	達成率	%
	コ　ス　ト			最終現計予算額	1,615	千円	最終現計予算額		千円	最終現計予算額		千円	最終現計予算額	千円
				決算額	1,233	千円	決算額		千円	決算額		千円	決算額	千円
5年度	要因分析	評価年度（「達成率100%未満」の場合、要記入。） ※終期短縮（Ｒ９→Ｒ５）												
		総括（事業最終年度の場合、要記入。） 県や地域において、農林水産分野における男女共同参画の推進について関係者が協議する場ができ、ＪＡの役員に占める女性の割合や家族経営協定締結数が方針策定時より増加するなど、一定の成果が得られた。６年度以降は、女性による経済活動を支援する事業と統合し、一体的に女性が活躍できる環境づくりを推進する。												
	見直し方向性		見直し内容の説明（維持・廃止・改善・大幅見直し（事業組替等））											

2

当初	事　項	**えひめ農林水産業魅力発信事業費**									予算主管課		農地・担い手対策室	
	事　業 概　要	「えひめ愛顔の農林水産人」を活用し、愛媛の農林水産業の魅力や成功体験を情報発信し、農林水産業のイメージを「稼げる」「かっこいい」「感動を楽しめる」に変えることで、次世代人材の掘り起こしを図り、新たな担い手の確保につなげる。									始期		R5	
											終期		R7	
	K P I	**まるかじりサイト年間アクセス数**												
		KPI種別	上がると良い指標	Ｒ ５ 年 度			Ｒ ６ 年 度			Ｒ ７ 年 度			Ｒ ８ 年 度	
		時点・期間	R4年度見込	時点･期間	R5~R5年度		時点･期間	R6年度		時点･期間	R7年度		時点･期間	
		現状値	56000　PV	目標値	67000	PV	目標値	78000	PV	目標値	89000	PV	目標値	PV
				実績値	64292	PV	実績値		PV	実績値		PV	実績値	PV
				達成率	95.96	%	達成率		%	達成率		%	達成率	%
	コ　ス　ト			最終現計予算額	15,988	千円	最終現計予算額		千円	最終現計予算額		千円	最終現計予算額	千円
				決算額	13,954	千円	決算額		千円	決算額		千円	決算額	千円
5年度	要因分析	評価年度（「達成率100%未満」の場合、要記入。） ホームページのリニューアルが予定より後ろ倒しになったことで、広告配信期間の短縮となり、未達成となった。												
		総括（事業最終年度の場合、要記入。）												
	見直し方向性	維持	見直し内容の説明（維持・廃止・改善・大幅見直し（事業組替等）） ５年度のKPIの実績はほぼ想定どおりの成果が出ており、６年度以降も現状のニーズを踏まえると、KPIは目標達成すると考えられることから、６年度の執行方法や７年度予算の見直しは想定していない。											

3	当初	事　項	**えひめ農業女子確保支援事業費**	予算主管課	農地・担い手対策室
		事　業 概　要	県内外の就農を希望する若年女性に対し、就農体験・交流の場を創出し、就農へ導くとともに、女性農業者が働きやすい労働環境の整備に向けて支援する。	始期	R5
				終期	R7

40歳未満の新規女性就農者数

KPI	KPI種別	上がると良い指標	R５年度		R６年度		R７年度		R８年度	
	時点・期間	過去５年平均	時点・期間	R5~R5年度	時点・期間	R5~R6年度	時点・期間	R5~R7年度	時点・期間	
	現状値	17　人	目標値	25 人	目標値	50 人	目標値	75 人	目標値	人
			実績値	22 人	実績値	人	実績値	人	実績値	人
			達成率	88.00 %	達成率	%	達成率	%	達成率	%
コスト			最終現計予算額	10,970 千円	最終現計予算額	千円	最終現計予算額	千円	最終現計予算額	千円
			決算額	5,645 千円	決算額	千円	決算額	千円	決算額	千円

5年度	要因分析	評価年度（「達成率100%未満」の場合、要記入。） 首都圏及び県内で20件の就農相談対応、また、県内外の就農希望者を対象とした農業体験ツアー１回、農業関係の学生を対象とした農業体験等を２回開催したが、就農定着には時間がかかることから目標達成に至らなかった。
		総括（事業最終年度の場合、要記入。）
	見直し方向性	維持
		見直し内容の説明（維持・廃止・改善・大幅見直し（事業組替等）） ５年度のKPIの実績はほぼ目標とおりの成果であり、６年度の執行方法や７年度予算の見直しは想定していない。

4	12月補正	事　項	**ひめカレ高度農業人材育成強化事業費**	予算主管課	農地・担い手対策室
		事　業 概　要	えひめ農業未来カレッジの学生及び意欲ある農業者などを確保し、農業DXの知識や技術を身につけた高度農業人材育成・確保を図る。	始期	R5
				終期	R7

えひめ農業未来カレッジにおける高度農業人材育成数

KPI	KPI種別	上がると良い指標	R５年度		R６年度		R７年度		R８年度	
	時点・期間	-	時点・期間	R5~R5年度	時点・期間	R5~R6年度	時点・期間	R5~R7年度	時点・期間	
	現状値	-　人	目標値	100 人	目標値	200 人	目標値	300 人	目標値	人
			実績値	83 人	実績値	人	実績値	人	実績値	人
			達成率	83.00 %	達成率	%	達成率	%	達成率	%
コスト			最終現計予算額	9,036 千円	最終現計予算額	千円	最終現計予算額	千円	最終現計予算額	千円
			決算額	5,628 千円	決算額	千円	決算額	千円	決算額	千円

5年度	要因分析	評価年度（「達成率100%未満」の場合、要記入。） 農業DX教育に全国に先駆けて取り組み、高度農業人材の育成を図ったが、学生の就農者（16人）が少なく、条件の良い他産業への就業者が多かったため、目標達成には至らなかった。
		総括（事業最終年度の場合、要記入。）
	見直し方向性	維持
		見直し内容の説明（維持・廃止・改善・大幅見直し（事業組替等）） ５年度のＫＰＩの実績はやや低かったものの、６年度の就農希望者及び農業DX公開講座と農業革新挑戦塾の参加者は今のところ多いことを踏まえると、ＫＰＩは達成すると考えられることから、６年度の執行方法や７年度予算の見直しは想定していない。

5

9月補正	事　項	**スリランカ農業人材活用促進事業費**	予算主管課	農地・担い手対策室
	事　業 概　要	スリランカでのかんきつ栽培の発展に向けた人材の育成と県内農業での労働力補完を図るため、同国からの技能実習生等の受入拡大の取組みを推進する。	始期	R5
			終期	R7

スリランカ農業人材受入体制の確立に向けた課題解決率

KPI	KPI種別	上がると良い指標	R５年度		R６年度		R７年度		R８年度	
	時点・期間	R4年度	時点・期間	R5年度	時点・期間	R6年度	時点・期間	R7年度	時点・期間	
	現状値	- %	目標値	100 %	目標値	100 %	目標値	100 %	目標値	%
			実績値	100 %	実績値	%	実績値	%	実績値	%
			達成率	100.00 %	達成率	%	達成率	%	達成率	%
コスト			最終現計予算額	1,264 千円	最終現計予算額	千円	最終現計予算額	千円	最終現計予算額	千円
			決算額	626 千円	決算額	千円	決算額	千円	決算額	千円

5年度			
	要因分析	評価年度（「達成率100%未満」の場合、要記入。）	
		総括（事業最終年度の場合、要記入。）	
	見直し方向性	維持	見直し内容の説明（維持・廃止・改善・大幅見直し（事業組替等）） ５年度のKPIの実績は100%となっているが、スリランカ農業人材の受入拡大については、これから引き続き取り組む予定である。今年度についても、相談体制を整備することとしており、KPIは目標達成する見込みであることから、６年度の執行方法や７年度予算の見直しは想定していない。

6

当初	事　項	**南予儲かる農業人材育成事業費（南予）**	予算主管課	農地・担い手対策室
	事　業 概　要	新規就農者に儲かる農業モデルを提案し、確実に１千万円を売り上げる農業者に育成することで農業の魅力を高め、新規就農者の定着に取り組み、地域の持続的な発展につなげる。	始期	R4
			終期	R6

南予地域の年収1千万円以上の新規就農者数（南予地域で概ね5年以内に就農した者）

KPI	KPI種別	上がると良い指標	R５年度		R６年度		R７年度		R８年度	
	時点・期間	R4年度	時点・期間	R5~R5年度	時点・期間	R5~R6年度	時点・期間	R5~R7年度	時点・期間	R5~R8年度
	現状値	0 人	目標値	3 人	目標値	5 人	目標値	10 人	目標値	30 人
			実績値	3 人	実績値	人	実績値	人	実績値	人
			達成率	100.00 %	達成率	%	達成率	%	達成率	%
コスト			最終現計予算額	3,000 千円	最終現計予算額	千円	最終現計予算額	千円	最終現計予算額	千円
			決算額	2,614 千円	決算額	千円	決算額	千円	決算額	千円

5年度			
	要因分析	評価年度（「達成率100%未満」の場合、要記入。）	
		総括（事業最終年度の場合、要記入。）	
	見直し方向性	維持	見直し内容の説明（維持・廃止・改善・大幅見直し（事業組替等）） ５年度のKPIの実績はほぼ想定どおりの成果が出ており、６年度以降も現状のニーズを踏まえると、KPIは目標達成すると考えられることから、６年度の執行方法の見直しは想定していない。

7	当初	事　項	**担い手総合支援事業費**	予算主管課	農地・担い手対策室
		事　業 概　要	募集から研修、就農、経営発展、経営継承まで一貫した支援を行い、担い手の確保を強力に推し進める。	始期	R3
				終期	R8

持続的継続的に農業に従事する農業者数

KPI	KPI種別	上がると良い指標	R５年度		R６年度		R７年度		R８年度	
	時点・期間	R4年	時点・期間	R5年度	時点・期間	R6年度	時点・期間	R7年度	時点・期間	R8年度
	現状値	4615　人	目標値	4707 人	目標値	4707 人	目標値	4707 人	目標値	4707 人
			実績値	R6.12頃判明 人	実績値	人	実績値	人	実績値	人
			達成率	- %	達成率	%	達成率	%	達成率	%
コスト			最終現計予算額	101,503 千円	最終現計予算額	千円	最終現計予算額	千円	最終現計予算額	千円
			決算額	78,221 千円	決算額	千円	決算額	千円	決算額	千円

5年度	要因分析	評価年度（「達成率100%未満」の場合、要記入。）	
		総括（事業最終年度の場合、要記入。）	
	見直し方向性	維持	見直し内容の説明（維持・廃止・改善・大幅見直し（事業組替等）） Ｒ６年度当初予算で内容の見直しを行っており、目標達成率に応じて維持又は改善を行う予定。

8	2月補正	事　項	**新規就農総合支援事業費**	予算主管課	農地・担い手対策室
		事　業 概　要	青年の就農意欲の喚起と就農後の定着を図るため、就農前の研修機関及び就農後３年間の資金面の支援を行うとともに、就農開始時の機械施設整備を支援する。	始期	H24
				終期	R6

認定新規就農者数

KPI	KPI種別	上がると良い指標	R５年度		R６年度		R７年度		R８年度	
	時点・期間	R5年度見込	時点・期間	R5~R5年度	時点・期間	R6年度	時点・期間		時点・期間	
	現状値	60　人	目標値	65 人	目標値	67 人	目標値	人	目標値	人
			実績値	R6.12頃判明 人	実績値	人	実績値	人	実績値	人
			達成率	- %	達成率	%	達成率	%	達成率	%
コスト			最終現計予算額	600,476 千円	最終現計予算額	千円	最終現計予算額	千円	最終現計予算額	千円
			決算額	577,757 千円	決算額	千円	決算額	千円	決算額	千円

5年度	要因分析	評価年度（「達成率100%未満」の場合、要記入。）	
		総括（事業最終年度の場合、要記入。）	
	見直し方向性	維持	見直し内容の説明（維持・廃止・改善・大幅見直し（事業組替等）） ５年度のKPIの実績は概ね想定どおりの成果が見込まれ、６年度以降も現状のニーズを踏まえると、KPIは目標達成すると考えられることから、６年度の執行方法や７年度予算の見直しは想定していない。

9	9月補正	事　項	**新規就農者緊急支援事業費**	予算主管課	農地・担い手対策室
		事　業 概　要	円安、燃料高騰、国際情勢の不安定化に起因して資材などの価格高騰が継続しており、就農して間もない新規就農者の経営を大きく圧迫していることから、資材等の価格高騰相当分の一部に対して緊急的に支援し、経営の安定を図る。	始期	R4
				終期	R5

	K　P　I	**支援を受けて経営を継続している認定新規就農者数**										
		KPI種別	上がると良い指標	R　5　年　度		R　6　年　度		R　7　年　度		R　8　年　度		
		時点・期間	R4年度	時点・期間	R5年度	時点・期間		時点・期間		時点・期間		
		現状値	- 人	目標値	180 人	目標値	人	目標値	人	目標値	人	
				実績値	132 人	実績値	人	実績値	人	実績値	人	
				達成率	73.33 %	達成率	%	達成率	%	達成率	%	
	コ　ス　ト			最終現計予算額	18,180 千円	最終現計予算額	千円	最終現計予算額	千円	最終現計予算額	千円	
				決算額	10,425 千円	決算額	千円	決算額	千円	決算額	千円	

5年度	要因分析	評価年度（「達成率100%未満」の場合、要記入。） 実際に対象となる認定新規就農者は163名であったが、支援対象外の者が31名いた。支援を受けた者については、経営を継続している。	
		総括（事業最終年度の場合、要記入。） 経営初期の経営が安定しない新規就農者の支援を行い、経営安定、地域定着の一助となった。	
	見直し方向性		見直し内容の説明（維持・廃止・改善・大幅見直し（事業組替等）） R6年度事業執行において、地域計画の策定推進を協議する「農地活用効率化推進班会議」において、地域計画を活用した具体的な農地集積の推進方策について検討する。

10	当初	事　項	**農地中間管理事業等推進費**	予算主管課	農地・担い手対策室
		事　業 概　要	農業経営の規模拡大、農用地の集団化、農業への新規参入等を促進し、生産性の向上を図るため、(公財)えひめ農林漁業振興機構が実施する農地中間管理事業等の支援を行う。	始期	H26
				終期	

	K　P　I	**担い手への農地集積率**										
		KPI種別	上がると良い指標	R　5　年　度		R　6　年　度		R　7　年　度		R　8　年　度		
		時点・期間	R4.6	時点・期間	R5.6	時点・期間	R6.6	時点・期間	R7.6	時点・期間	R8.6	
		現状値	35.9 %	目標値	69 %	目標値	69 %	目標値	69 %	目標値	69 %	
				実績値	37.4 %	実績値	%	実績値	%	実績値	%	
				達成率	54.20 %	達成率	%	達成率	%	達成率	%	
	コ　ス　ト			最終現計予算額	61,499 千円	最終現計予算額	千円	最終現計予算額	千円	最終現計予算額	千円	
				決算額	47,792 千円	決算額	千円	決算額	千円	決算額	千円	

5年度	要因分析	評価年度（「達成率100%未満」の場合、要記入。） 集落営農法人への農地集積が進んだことで、担い手への農地集積率に向上は見られたが、多数を占める個人農家に規模拡大要望がなかったため、全体としては微増であった。	
		総括（事業最終年度の場合、要記入。）	
	見直し方向性	改善	見直し内容の説明（維持・廃止・改善・大幅見直し（事業組替等）） R6年度事業執行において、地域計画の策定推進を協議する「農地活用効率化推進班会議」において、地域計画を活用した具体的な農地集積の推進方策について検討する。

11

2月補正	事　項	**農地集積推進事業費**	予算主管課	農地・担い手対策室
	事　業 概　要	地域計画についての継続的な話合い等の策定活動により、地域農業の中心となる経営体の育成と農地集積を促進することで、農業の体質強化を図る。	始期	H24
			終期	

地域計画の策定に向けた協議が行われた地域の割合

KPI	KPI種別	上がると良い指標	R５年度		R６年度		R７年度		R８年度	
	時点・期間	R5年度	時点・期間	R5年度	時点・期間	R6年度	時点・期間	R7年度	時点・期間	R8年度
	現状値	- %	目標値	29 %	目標値	100 %	目標値	100 %	目標値	100 %
			実績値	23 %	実績値	%	実績値	%	実績値	%
			達成率	79.31 %	達成率	%	達成率	%	達成率	%
コスト			最終現計予算額	959 千円	最終現計予算額	千円	最終現計予算額	千円	最終現計予算額	千円
			決算額	417 千円	決算額	千円	決算額	千円	決算額	千円

5年度	要因分析	評価年度（「達成率100%未満」の場合、要記入。） 将来の地域農業を担う耕作者を検討する協議において必要となる現耕作者を表した地図の作成に時間を要したため、協議の実施率が伸びなかった。	
		総括（事業最終年度の場合、要記入。）	
	見直し方向性	改善	見直し内容の説明（維持・廃止・改善・大幅見直し（事業組替等）） Ｒ６年度事業執行において、県、県農地中間管理機構及び県農業会議で２０市町を対象にヒアリングを行い、必要に応じて協議の場で助言等の支援を行う。

12

当初	事　項	**農業大学校教育施設整備事業費**	予算主管課	農地・担い手対策室
	事　業 概　要	農業大学校の教育に必要な施設・設備が計画的に整備され、最新技術に対応できる農業者を育成する。	始期	H18～
			終期	

教育用施設・設備の整備実施率

KPI	KPI種別	上がると良い指標	R５年度		R６年度		R７年度		R８年度	
	時点・期間	R4年度	時点・期間	R5年度	時点・期間	R6年度	時点・期間	R7年度	時点・期間	R8年度
	現状値	100 %	目標値	100 %	目標値	100 %	目標値	100 %	目標値	100 %
			実績値	100 %	実績値	%	実績値	%	実績値	%
			達成率	100.00 %	達成率	%	達成率	%	達成率	%
コスト			最終現計予算額	3,503 千円	最終現計予算額	千円	最終現計予算額	千円	最終現計予算額	千円
			決算額	1,929 千円	決算額	千円	決算額	千円	決算額	千円

5年度	要因分析	評価年度（「達成率100%未満」の場合、要記入。）	
		総括（事業最終年度の場合、要記入。）	
	見直し方向性	維持	見直し内容の説明（維持・廃止・改善・大幅見直し（事業組替等）） ５年度のKPIの実績はほぼ想定どおりの成果が出ており、６年度以降も予算を有効に活用することで、KPIは目標達成すると考えられることから、６年度の執行方法や７年度予算の見直しは想定していない。

13 当初

事　項	**農業大学校運営費**	予算主管課	農地・担い手対策室
事　業 概　要	農業大学校の校舎・施設を適切に管理し、業務に支障が出ないようにする。	始期	S46～
		終期	

農業大学校の施設管理上の問題に起因する業務支障件数

KPI種別	下がると良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度	
時点・期間	R4年度	時点・期間	R5年度	時点・期間	R6年度	時点・期間	R7年度	時点・期間	R8年度
現状値	0　件	目標値	0 件	目標値	0 件	目標値	0 件	目標値	0 件
		実績値	0 件	実績値	件	実績値	件	実績値	件
		達成率	100.00 %	達成率	%	達成率	%	達成率	%
コ　ス　ト		最終現計予算額	33,480 千円	最終現計予算額	千円	最終現計予算額	千円	最終現計予算額	千円
		決算額	30,701 千円	決算額	千円	決算額	千円	決算額	千円

5年度

要因分析	評価年度（「達成率100%未満」の場合、要記入。）	
	総括（事業最終年度の場合、要記入。）	
見直し方向性	維持	見直し内容の説明（維持・廃止・改善・大幅見直し（事業組替等）） ５年度のＫＰＩは想定どおりの成果が出ており、６年度以降も事前の点検活動の強化により、ＫＰＩは目標達成すると考えられることから、６年度の執行方法や７年度予算の見直しは想定していない。

14 当初

事　項	**農業経営総合支援事業費**	予算主管課	農地・担い手対策室
事　業 概　要	意欲ある農業者等の農業経営や円滑な経営継承等を図るため、農業経営相談所の体制整備等に支援を行う。	始期	H30
		終期	

個人農業者等の法人化数

KPI種別	上がると良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度	
時点・期間	R4年度	時点・期間	R5年度	時点・期間	R6年度	時点・期間	R7年度	時点・期間	R8年度
現状値	3　法人	目標値	8 法人	目標値	8 法人	目標値	8 法人	目標値	8 法人
		実績値	3 法人	実績値	法人	実績値	法人	実績値	法人
		達成率	37.50 %	達成率	%	達成率	%	達成率	%
コ　ス　ト		最終現計予算額	24,216 千円	最終現計予算額	千円	最終現計予算額	千円	最終現計予算額	千円
		決算額	21,127 千円	決算額	千円	決算額	千円	決算額	千円

5年度

要因分析	評価年度（「達成率100%未満」の場合、要記入。） 支援対象者のうち法人化を希望する者が7名いたが、法人設立に先立ち販路開拓等経営相談や就業規則作成のために複数の専門家の派遣を必要としていたため、単年度では一部法人化に至らなかった。	
	総括（事業最終年度の場合、要記入。）	
見直し方向性	改善	見直し内容の説明（維持・廃止・改善・大幅見直し（事業組替等）） R6年度事業執行において、支援対象者への伴走支援を新たに行うことで、法人化を重点支援する。

15	当初	事　項	**農福連携デジタル化支援事業費（東予）**	予算主管課	農地・担い手対策室
		事　業 概　要	農福連携マッチングにデジタルを活用し、農業法人（集落）の労力補完を推進する	始期	R4
				終期	R5

KPI：農福連携マッチングで農業に従事したのべ参加者数（東予分）

KPI種別	上がると良い指標	R５年度		R６年度		R７年度		R８年度	
時点・期間	R4年度	時点・期間	R5年度	時点・期間		時点・期間		時点・期間	
現状値	500　人	目標値	1000 人	目標値	人	目標値	人	目標値	人
		実績値	3492 人	実績値	人	実績値	人	実績値	人
		達成率	349.20 %	達成率	%	達成率	%	達成率	%
コスト		最終現計予算額	1,208 千円	最終現計予算額	千円	最終現計予算額	千円	最終現計予算額	千円
		決算額	760 千円	決算額	千円	決算額	千円	決算額	千円

5年度	要因分析	評価年度（「達成率100%未満」の場合、要記入。）	
		総括（事業最終年度の場合、要記入。） 　農福連携により農作業の労働力を確保し、管内集落営農の維持、発展を図るため、農作業受注システム「になうて農福」を開発し、農家と福祉施設間の農作業マッチングを効率的に進めた。サトイモ収穫作業やアスパラガスハウスの枝運び出し作業等を試験運用し、のべ約3,500人の通所者が農作業に従事した。中でもサトイモ収穫作業への参加者は年々増加しており、地区内での農福連携に認知度は向上している。	
	見直し方向性		見直し内容の説明（維持・廃止・改善・大幅見直し（事業組替等））

16	当初	事　項	**農福連携推進事業費**	予算主管課	農地・担い手対策室
		事　業 概　要	担い手・労働力不足に伴い、農業生産の維持には、労働力確保が課題である。一方障がい者等の就労機会の確保、自立支援の観点から農業への就労を目指す活動が増加しており、農作業体験マッチング等を通し農福連携の取り組みを普及していく。	始期	R4
				終期	R6

KPI：農福連携に関する研修等に取り組んだ障がい者および支援員数

KPI種別	上がると良い指標	R５年度		R６年度		R７年度		R８年度	
時点・期間	R4年度	時点・期間	R5年度	時点・期間	R6年度	時点・期間		時点・期間	
現状値	246　人	目標値	253 人	目標値	261 人	目標値	人	目標値	人
		実績値	198 人	実績値	人	実績値	人	実績値	人
		達成率	78.26 %	達成率	%	達成率	%	達成率	%
コスト		最終現計予算額	1,545 千円	最終現計予算額	千円	最終現計予算額	千円	最終現計予算額	千円
		決算額	735 千円	決算額	千円	決算額	千円	決算額	千円

5年度	要因分析	評価年度（「達成率100%未満」の場合、要記入。） 障がい者にとって安全な作業環境を確保しつつ取り組みを進め、併せて作業のステップアップや機械利用などへレベルアップしたことで多くの人数への対応が困難なマッチングもあり、未達成となった。	
		総括（事業最終年度の場合、要記入。）	
	見直し方向性	維持	見直し内容の説明（維持・廃止・改善・大幅見直し（事業組替等）） ５年度のKPIの実績は78%であるが、６年度以降も現状のニーズを踏まえると、KPIは目標達成すると考えられることから、６年度の執行方法や７年度予算の見直しは想定していない。

17	当初	事　項	**青年農林漁業者ステップアップ活動支援事業費**	予算主管課	農地・担い手対策室
		事　業 概　要	青年農業者が就農予定者や新規参入者に対する情報発信活動を行うほか、自らの経営力を高めるのに必要な新たな技術の取得を図り、地域を担う青年農林漁業者の資質の向上、地域農業の活性化、発展を目指す。	始期	H28
				終期	R5

	K　P　I	**本事業の活用で、課題が解決・進展した活動グループ割合**										
		KPI種別	上がると良い指標	R　5　年　度		R　6　年　度		R　7　年　度		R　8　年　度		
		時点・期間	R4年度	時点・期間	R5~R5年度	時点・期間		時点・期間		時点・期間		
		現状値	100　　%	目標値	100 %	目標値	%	目標値	%	目標値		%
				実績値	100 %	実績値	%	実績値	%	実績値		%
				達成率	100.00 %	達成率	%	達成率	%	達成率		%
	コ　ス　ト			最終現計予算額	7,885 千円	最終現計予算額	千円	最終現計予算額	千円	最終現計予算額		千円
				決算額	6,277 千円	決算額	千円	決算額	千円	決算額		千円

5年度	要因分析	評価年度（「達成率100%未満」の場合、要記入。）	
		総括（事業最終年度の場合、要記入。） 会員数が長期減少傾向になる中、新規参入者の地域への定着を支援する役割、受皿となる地域組織体制づくりに寄与した。また、地域を超えた組織間連携が必要となっている折、青年農林漁業者組織での連携が推進された。	
	見直し方向性		見直し内容の説明（維持・廃止・改善・大幅見直し（事業組替等））